



————— 第2回 病虫害予防 ————— 2016.6.1

生け垣の保全で日ごろから注意しなくてはならないことは病気や害虫による被害です。病気については症状が出た葉をホームセンター等に持ちこみ、尋ねるほうが早いようです。

生け垣の病虫害の予防

- ① 過湿にしない。
- ② 肥料は適量を与える。
- ③ 日照・通風をよくする。



害虫を一目で見つけるワンポイント

虫の姿は見えないが葉の上とか、木の下に黒いゴマのような糞（ふん）が散らばっている時は毛虫などがいます。ノコで引いたような木くずがある場合には、幼虫が木の中に潜んで木の樹液を吸っています。アリが木にそって上り下りしているのは、枯れ枝に巣を作っているのかもしれませんが。枯れ木、枯れ枝は早く剪定し処分しましょう。

家庭用殺虫剤（管理には十分に注意しましょう）

マラソン乳剤・スミチオン乳剤等を水で薄めて使用します。葉を食べる虫・樹液を吸う虫の駆除に適していて、家庭用には十分だと思います。

根を食害する虫には株もとにダイアジノン乳剤液を注入するとよいでしょう。

害虫に適した薬剤を選び、使用時には注意事項をよく読んで散布しましょう。

薬剤散布の注意点

服装は長袖にし、ゴーグル、手袋、帽子などを着用し皮膚の露出部を少なくします。

風のない天気の良い朝・夕の涼しいときを選んで、小児・ペットが近づかないように配慮してください。

散布後は身体をよくシャワーし、使った器具や衣服も洗ってください。

ツツジの剪定が終わり、目につくのは！！！！

生け垣のキンモクセイ・ベニカナメモチの剪定は3～4月が適期です。この時期（6～7月）には道路やお隣の境界線よりはみ出た枝を軽く剪定する程度にし、太い枝の強い剪定はやめておきましょう。詳しくは来年の3月号に掲載したいと思います。

※参考資料「造園施工必携」「緑化管理者養成講座」のテキスト